

福島県内企業「メインバンク」動向調査（2024年）

東邦銀行、シェア4割で横ばい

～上位9行、順位は前年と同一～

はじめに

人口減少や超低金利の長期化による収益環境の悪化など厳しい経営環境が続いてきた金融機関は、政策金利の引き上げなどが追い風となり収益が改善しつつある。一方で、割安な手数料や横断的な各種サービスで顧客の囲い込みを図るネット銀行が台頭してきている。また東北は、2025年1月1日青森銀行とみちのく銀行が合併し「青森みちのく銀行」が誕生し、今年1月1日には荘内銀行と北都銀行が合併し「フィデア銀行」として誕生する予定であり、全国的にも銀行再編が活発な地域として注目されている。こうした環境下において、従来の貸し出しシェア競争から一線を画し、コロナ禍で疲弊した中小企業の経営を立て直すといった役割が地域金融機関に求められており、中小企業の「メインバンク」の選択にも影響を与える可能性がある。

帝国データバンク郡山支店では、2024年10月末時点の企業概要データベース COSMOS2（特殊法人・個人事業主含む）から、福島県内の企業がメインバンクと認識している金融機関について抽出し集計した。

※本調査は帝国データバンクが独自に調査・保有している企業概要データベース「COSMOS2」に収録された企業データであるため、各金融機関がメインとして認識する実数とは異なる場合がある。また、1企業に複数のメインがあるケースでは、各企業が最上位として認識している金融機関をメインバンクとした

調査結果（要旨）

1. 福島県内の企業がメインバンクとして認識している金融機関で最も多かったのは、**東邦銀行**（福島市）の9104社で、シェア（構成比）は40.25%と前年比で横ばい
2. シェア上位10行では、9位まで前年と同順位。5位に入った**常陽銀行**（水戸市）以外は地元金融機関
3. 業種別でも**東邦銀行**が全業種で1位。特に「卸売業」は約46%シェア
4. 売上規模別でも**東邦銀行**がすべて1位。売上高「50億円以上」では、上位10行中7行が県外

1. 上位30行～上位10行中、県外では唯一「常陽銀行」が5位に入る

福島県内の企業がメインバンクと認識している上位30行は表1の通り。1位は、**東邦銀行**（福島市）で9104社、シェアにして40.25%となり、4割を占めた。2位は、**大東銀行**（郡山市）2118社、同9.36%、3位は、**福島銀行**（福島市）1887社、同8.34%、4位は、**福島信金**（福島市）1219社、同5.39%と続き、上位4行までを地元金融機関が占め、シェア合計は全体の6割強となった。

1位の**東邦銀行**は4割のシェアを占め、2位以下を約30ポイント引き離れた。福島県全域をカバーする店舗網と、多くの取引先を有し、引き続き圧倒的な強さを示した。

5位は、茨城県を地盤とする**常陽銀行**（水戸市）が848社、同3.75%で、県外金融機関として唯一トップ10入りを果たした、上位10行中9行が地元金融機関となっている。上位9位まで順位は前年と同一で、前年11位の**白河信金**（白河市）が10位に入った。

表1

福島県メインバンク社数 上位30行

2024年						2023年				
順位	取引銀行名	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比	順位	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	東邦	9,104	+6	40.25%	+0.01	1	9,098	▲69	40.24%	▲0.05
2	大東	2,118	▲45	9.36%	▲0.21	2	2,163	▲38	9.57%	▲0.10
3	福島	1,887	▲20	8.34%	▲0.10	3	1,907	+13	8.44%	+0.12
4	福島信金	1,219	▲13	5.39%	▲0.06	4	1,232	▲9	5.45%	±0.00
5	常陽	848	▲12	3.75%	▲0.05	5	860	▲24	3.80%	▲0.09
6	ひまわり信金	751	▲16	3.32%	▲0.07	6	767	▲26	3.39%	▲0.10
7	郡山信金	703	▲11	3.11%	▲0.05	7	714	▲2	3.16%	+0.01
8	須賀川信金	696	+20	3.08%	+0.09	8	676	+2	2.99%	+0.03
9	いわき信組	586	+6	2.59%	+0.02	9	580	▲5	2.57%	±0.00
10	白河信金	558	+9	2.47%	+0.04	11	549	▲4	2.43%	±0.00
11	会津信金	553	+2	2.44%	±0.00	10	551	+4	2.44%	+0.04
12	福島県商工信組	504	+1	2.23%	+0.01	12	503	+12	2.22%	+0.06
13	二本松信金	384	▲8	1.70%	▲0.03	13	392	▲2	1.73%	±0.00
14	七十七	353	▲2	1.56%	▲0.01	14	355	▲1	1.57%	+0.01
15	みずほ	320	▲7	1.41%	▲0.04	15	327	▲9	1.45%	▲0.03
16	あぶくま信金	317	▲7	1.40%	▲0.03	16	324	+5	1.43%	+0.03
17	会津商工信組	219	±0	0.97%	±0.00	17	219	+4	0.97%	+0.02
18	秋田	166	▲5	0.73%	▲0.03	18	171	▲9	0.76%	▲0.03
19	相双五城信組	102	▲3	0.45%	▲0.01	19	105	+5	0.46%	+0.02
20	ふくしま未来農協	85	+1	0.38%	+0.01	20	84	▲1	0.37%	±0.00
21	足利	69	±0	0.31%	±0.00	21	69	±0	0.31%	+0.01
22	福島さくら農協	60	▲1	0.27%	±0.00	22	61	+4	0.27%	+0.02
23	会津よつば農協	59	+3	0.26%	+0.01	23	56	+6	0.25%	+0.03
24	第四北越	49	+1	0.22%	+0.01	24	48	▲1	0.21%	▲0.01
25	ゆうちょ	44	+10	0.19%	+0.04	28	34	+2	0.15%	+0.01
26	三井住友	43	+2	0.19%	+0.01	27	41	+3	0.18%	+0.01
27	夢みなみ農協	42	±0	0.19%	±0.00	25	42	▲1	0.19%	±0.00
27	三菱UFJ	42	±0	0.19%	±0.00	25	42	+3	0.19%	+0.02
29	商工中金	36	+4	0.16%	+0.02	31	32	▲5	0.14%	▲0.02
30	きらやか	34	±0	0.15%	±0.00	28	34	±0	0.15%	±0.00

2. 業種別 ～「東邦銀行」がすべてトップ、「卸売業」と「サービス業」は4割超

業種別の上位行は表2の通り。全業種とも1位が**東邦銀行**となり、2位以下を大きく引き離れた。特に「卸売業」は約46%、「サービス業」は約44%を占める。「その他産業」（農林水産・鉱業など）は3農協がランクイン。

表2（業種別）

建設業					製造業				
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	順位	金融機関	社数	シェア	前年比
1	東邦	3,095	38.34%	+0.02	1	東邦	832	39.56%	+0.04
2	大東	880	10.90%	▲ 0.10	2	福島	180	8.56%	+0.12
3	福島	755	9.35%	▲ 0.11	3	大東	162	7.70%	▲ 0.28
4	福島信金	470	5.82%	+0.01	4	常陽	115	5.47%	+0.04
5	ひまわり信金	320	3.96%	▲ 0.14	5	福島信金	113	5.37%	▲ 0.20
6	郡山信金	298	3.69%	▲ 0.03	6	須賀川信金	78	3.71%	▲ 0.09
7	いわき信組	285	3.53%	+0.06	7	ひまわり信金	69	3.28%	+0.03
8	須賀川信金	257	3.18%	+0.17	8	白河信金	63	3.00%	▲ 0.06
9	常陽	256	3.17%	▲ 0.03	9	会津信金	58	2.76%	+0.02
10	会津信金	210	2.60%	+0.14	10	みずほ	57	2.71%	+0.07

卸売業					小売業				
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	順位	金融機関	社数	シェア	前年比
1	東邦	886	46.31%	+0.70	1	東邦	1,079	37.70%	+0.07
2	大東	159	8.31%	▲ 0.31	2	大東	283	9.89%	▲ 0.09
3	福島	154	8.05%	±0.00	3	福島	233	8.14%	▲ 0.26
4	常陽	102	5.33%	▲ 0.14	4	福島信金	192	6.71%	+0.09
5	福島信金	71	3.71%	▲ 0.11	5	ひまわり信金	103	3.60%	+0.11
6	ひまわり信金	57	2.98%	▲ 0.12	6	会津信金	98	3.42%	+0.03
7	白河信金	55	2.88%	+0.35	6	常陽	98	3.42%	▲ 0.04
8	郡山信金	53	2.77%	▲ 0.07	8	須賀川信金	84	2.94%	▲ 0.08
9	須賀川信金	46	2.40%	+0.08	9	郡山信金	82	2.87%	▲ 0.05
10	福島県商工信組	42	2.20%	▲ 0.02	10	白河信金	76	2.66%	▲ 0.03

運輸・通信業					サービス業				
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	順位	金融機関	社数	シェア	前年比
1	東邦	282	39.17%	+0.90	1	東邦	2,310	44.42%	▲ 0.49
2	福島	65	9.03%	+0.39	2	大東	440	8.46%	▲ 0.41
3	大東	61	8.47%	▲ 0.86	3	福島	382	7.35%	▲ 0.29
4	常陽	43	5.97%	+0.21	4	福島信金	258	4.96%	▲ 0.12
5	福島県商工信組	36	5.00%	▲ 0.08	5	常陽	168	3.23%	▲ 0.15
6	福島信金	30	4.17%	▲ 0.08	6	郡山信金	145	2.79%	▲ 0.13
7	郡山信金	28	3.89%	+0.19	7	須賀川信金	143	2.75%	+0.18
8	須賀川信金	26	3.61%	▲ 0.23	8	ひまわり信金	137	2.63%	▲ 0.10
9	ひまわり信金	23	3.19%	▲ 0.24	9	福島県商工信組	109	2.10%	▲ 0.01
9	白河信金	23	3.19%	▲ 0.38	10	会津信金	100	1.92%	▲ 0.13

不動産業

順位	金融機関	社数	シェア	前年比
1	東邦	420	39.29%	▲ 0.43
2	大東	88	8.23%	+0.06
3	福島	86	8.04%	+0.53
4	福島信金	65	6.08%	▲ 0.30
5	常陽	46	4.30%	+0.17
6	いわき信組	45	4.21%	+0.17
7	須賀川信金	42	3.93%	▲ 0.01
8	郡山信金	37	3.46%	▲ 0.01
9	福島県商工信組	35	3.27%	▲ 0.30
10	ひまわり信金	33	3.09%	+0.27

その他産業

順位	金融機関	社数	シェア	前年比
1	東邦	200	29.33%	▲ 0.13
2	大東	45	6.60%	+0.27
3	福島	32	4.69%	▲ 0.02
4	ふくしま未来農協	30	4.40%	+0.13
5	会津よつば農協	29	4.25%	▲ 0.17
6	福島さくら農協	26	3.81%	+0.13
7	白河信金	24	3.52%	+0.13
8	会津信金	22	3.23%	+0.14
9	郡山信金	21	3.08%	▲ 0.01
10	福島信金	20	2.93%	▲ 0.02

3. 売上規模別 ～「東邦銀行」がすべてトップ、「50億円以上」の上位10行中県外が7行

融資先の売上規模別の上位行は表3の通り。ここでも、**東邦銀行**が全ての売上規模で2位以下を引き離してトップのシェアを確保、小規模から中堅・大規模企業まで幅広く融資先を有している。売上規模が大きくなるにつれ県外金融機関の存在が目立つようになり、売上高「10億円～50億円」では上位10行中4行を県外金融機関が占め、「50億円以上」では7行が占めている。

表3 (売上規模別)

売上高5000万円未満

順位	金融機関	社数	シェア	前年比
1	東邦	3,595	38.31%	▲ 0.01
2	大東	933	9.94%	▲ 0.21
3	福島	791	8.43%	▲ 0.13
4	福島信金	568	6.05%	▲ 0.10
5	ひまわり信金	375	4.00%	+0.03
6	郡山信金	351	3.74%	▲ 0.06
7	須賀川信金	318	3.39%	+0.13
8	白河信金	277	2.95%	+0.05
9	いわき信組	253	2.70%	+0.12
10	会津信金	251	2.68%	+0.01

売上高5000万円～1億円未満

順位	金融機関	社数	シェア	前年比
1	東邦	1,583	38.80%	▲ 0.37
2	大東	389	9.53%	▲ 0.64
3	福島	350	8.58%	▲ 0.21
4	福島信金	248	6.08%	+0.21
5	ひまわり信金	150	3.68%	▲ 0.23
6	郡山信金	144	3.53%	+0.08
6	常陽	144	3.53%	±0.00
8	須賀川信金	136	3.33%	+0.24
9	いわき信組	126	3.09%	+0.02
10	白河信金	112	2.75%	+0.21

売上高1～5億円未満

順位	金融機関	社数	シェア	前年比
1	東邦	2,607	40.92%	+0.27
2	大東	628	9.86%	+0.10
3	福島	547	8.59%	+0.06
4	福島信金	325	5.10%	▲ 0.27
5	常陽	297	4.66%	▲ 0.08
6	須賀川信金	197	3.09%	▲ 0.04
7	ひまわり信金	177	2.78%	▲ 0.06
8	いわき信組	170	2.67%	▲ 0.09
8	郡山信金	170	2.67%	▲ 0.03
10	会津信金	157	2.46%	+0.06

売上高5～10億円未満

順位	金融機関	社数	シェア	前年比
1	東邦	569	44.66%	▲ 0.22
2	福島	109	8.56%	▲ 0.26
3	大東	106	8.32%	▲ 0.34
4	常陽	82	6.44%	▲ 0.25
5	福島信金	54	4.24%	+0.70
6	ひまわり信金	31	2.43%	▲ 0.17
7	七十七	28	2.20%	+0.23
8	秋田	26	2.04%	+0.15
9	いわき信組	25	1.96%	▲ 0.09
10	福島県商工信組	24	1.88%	+0.15

売上高10～50億円

順位	金融機関	社数	シェア	前年比
1	東邦	558	52.05%	▲ 0.73
2	常陽	83	7.74%	+0.52
3	福島	82	7.65%	+0.80
4	大東	52	4.85%	+0.41
5	みずほ	40	3.73%	+0.12
6	七十七	25	2.33%	▲ 0.26
7	福島信金	19	1.77%	▲ 0.36
8	須賀川信金	17	1.59%	▲ 0.26
9	秋田	16	1.49%	+0.19
10	いわき信組	12	1.12%	+0.29

売上高50億円以上

順位	金融機関	社数	シェア	前年比
1	東邦	131	42.95%	+1.09
2	みずほ	32	10.49%	+0.52
3	常陽	16	5.25%	▲ 1.06
4	三井住友	10	3.28%	▲ 0.04
4	三菱UFJ	10	3.28%	+0.62
6	七十七	8	2.62%	▲ 0.04
7	農林中金	5	1.64%	▲ 0.02
8	福島	4	1.31%	▲ 0.35
9	福島信金	3	0.98%	▲ 0.02
9	足利	3	0.98%	+0.32

4. まとめ ～「東邦銀行」が圧倒的なシェア、上位 30 行シェア横ばい

東邦銀行が業種別、売上規模別ともに 2 位以下を引き離して圧倒的なシェアを示した。また、メイン取引企業数トップ 10 行中、5 位の常陽銀行以外の 9 行を地元金融機関が占めた。上位 30 行のシェアは前年比でほぼ横ばいであった。

日本銀行が昨年 3 月に政策金利の引き上げを表明して以降、金融機関では企業の借り換え局面などで利上げの交渉を進める動きが活発化するなど、長期にわたって続いた低金利・ゼロ金利の経営環境から「金利のある世界」への移行が進んでいる。実際に、帝国データバンクが昨年 6 月に実施した調査では（企業の「借入金金利」動向調査、2024 年 6 月 26 日発表）、2023 年度決算を迎えた企業 4.3 万社のうち半数超が前年度から金利が「上昇」していた。取引金融機関別にみると、金利上昇の影響を受けた企業は「メガバンク」との取引で最も大きく、「地方銀行」が最も小さいなど、取引行によって動向には若干のばらつきもみられた。今後、金利の上昇で利払い負担が増加し、金融機関に支援を求める中小企業が増えてくることが想定されるなか、貸出金利の引き上げ動向が企業における今後のメインバンク選択に影響を与える可能性がある。

金融機関は、コロナ禍をしのぐために借り入れた債務負担が重い中小企業に対して、事業再生を支援する役割が強く求められるようになった。足元では、再生支援を担う部署や新会社の設立などで事業再生ビジネスに本格的に参入する金融機関も相次ぐ。こうした局面では、地域の中小企業に特に密着した＝「小回りの利く」融資や、経営問題を解決まで導く支援ノウハウ、企業の事業価値を適切に把握する「目利き力」が欠かせない。他方で、長期にわたる低金利での貸し出し競争が常態化してきたことや、中小企業金融円滑化法の施行をはじめ、各種の手厚い金融支援を背景に「借り手＝企業側」に優位な状況が続いてきたことで、貸し出しの現場における融資規律の緩みや「目利き力」の低下といった問題が指摘されている。売り上げの架空計上など決算書の改ざんが発覚した企業の経営破たん、「粉飾倒産」（負債額 1000 万円以上、法的整理）は、2024 年 1－9 月で過去最多ペースとなる 74 件（全国）が判明した。取引の信頼関係を損なう、悪質な行為を行った借り手側に厳しく責任が問われるべきはいうまでもないものの、一方で長期にわたり行われてきた不正を貸し手側で見破ることが困難な事例も目立っている。

多くの金融機関に対しては、相次ぐ地銀の再編や拠点の統廃合、人員など組織のスリム化を背景に「地元の中小零細企業にきめ細かな対応ができるのか」という懸念もある。このほか、低コストでの送金や口座維持手数料の無料化など、利便性の高い決済機能を強みに攻勢をかけるネット銀行が店舗型金融機関に代わる新たな受け皿として存在感を高めつつある。融資先企業のニーズに沿った金融・経営支援をどう展開できるのか、メインバンクとして支援する店舗型金融機関の手腕が注目される。

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 郡山支店 担当:神尾 友勝
TEL 024-923-2442 (直通)

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。